

フレッツ・ISDN
ADSLを
導入したい人
限定!

常時接続時代の プロバイダー ランキング

フレッツ・ISDNがスタートして1年、サービスエリアもようやく広がってきたところだが、その背後からはADSLがあとを追うようにエリアの拡大を始めている。これからのプロバイダー選びは、もはや常時接続を抜きにしては語れない。そこで今月の特集では、フレッツ・ISDNやADSLに対応しているプロバイダーに絞って、その中からどこを選ぶべきかを検討したランキングを紹介しよう。今年こそダイアルアップを卒業したいと考えているなら、まずはこの特集を読んでから考えてみよう!

大澤文孝 + 編集部



アンケートから見えてくるベストプロバイダー

プロバイダー 人気ランキング2001

フレッツ・ISDNやADSLの登場により、これまでのプロバイダーの選び方も変わり始めている。常時接続時代を迎えて、ユーザーはどのプロバイダーを選択しているのだろうか。まずは実際のユーザーアンケートによるランキングから、ブロードバンドを迎えつつある現在のプロバイダー選びの傾向を見てみよう。

2001年のトップは@nifty
ブロードバンドも大躍進

2001年 人気プロバイダーベスト20 (総数 5355人)

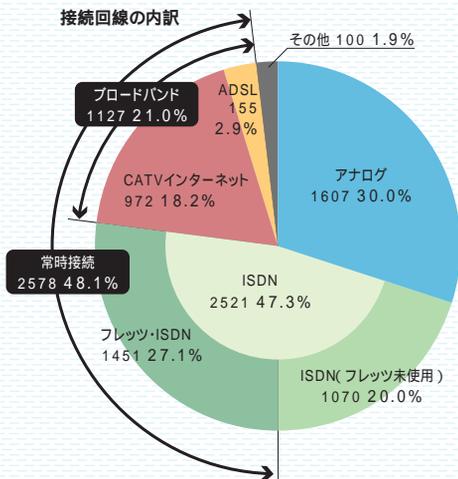
プロバイダー名	人数	満足度					
		料金	スピード	サポート	ウェブ	メール	回線品質
1 @nifty	570	68.2	53.7	82.6	77.9	81.9	75.4
2 ODN	303	70.3	46.5	81.2	43.2	76.9	70.6
3 So-net	294	71.1	54.1	88.8	56.1	82.3	77.6
4 DTI	277	57.0	81.2	196.0	76.2	292.4	293.5
5 @NetHome	263	33.8	62.4	31.9	61.6	55.9	53.6
6 BIGLOBE	237	71.7	54.4	86.1	76.8	85.7	79.3
7 ASAHIネット	210	196.7	64.8	90.5	381.0	82.9	88.6
8 DION	158	64.6	53.8	72.8	56.3	71.5	69.6
9 OCN	158	58.2	44.3	76.6	60.8	79.1	75.3
10 ぶらら	133	73.7	62.4	79.7	72.9	89.5	78.9
11 IJ4U	126	47.6	381.7	295.2	59.5	195.2	196.0
12 ZERO	121	196.7	65.3	72.7	73.6	77.7	76.9
13 WAKWAK	119	394.1	60.5	85.7	190.8	389.9	390.8
14 ZAQインターネット	107	47.7	75.7	64.5	69.2	87.9	72.0
15 DreamNet	98	77.6	56.1	84.7	65.3	68.4	77.6
16 AT&T WorldNet Service	92	75.0	70.7	83.7	80.4	73.9	85.9
17 Panasonic Hi-HO	81	71.6	63.0	392.6	282.7	87.7	79.0
18 Highway Internet	68	88.2	54.4	73.5	58.8	89.7	80.9
19 東京めたりっく通信	67	82.1	188.1	46.3	43.3	55.2	64.2
20 東急ケーブルテレビ	62	74.2	283.9	71.0	35.5	64.5	69.4

今回のアンケートでは、もっとも多くのユーザーに利用されているプロバイダーは@niftyという結果になった。2位以下にはODN、So-net、DTIといったおなじみの大手プロバイダーが並んでいるが、注目は5位にランクインしたCATVインターネットの@NetHomeを始めとして、ZAQインターネット、東急ケーブルテレビといった大手CATVのサービスが20位以内に入っている点だ。また、サービス開始から1年ほどしか経っていないにもかかわらず、ADSLの東京めたりっく通信もランクインしている。

今回のアンケートでは、料金、スピード、サポート、ウェブ（個人ホームページ設置サービス）、メール機能、回線品質の6つの項目について、それぞれ現在のプロバイダーのサービスに満足しているかどうかという質問を行った。全般的にブロードバンド系のプロバイダーではスピードは高い満足度を示しているものの、その他の項目では既存のプロバイダーのほうが高い数値となっている。こうした満足度の高さは、既存のプロバイダーがユーザーの信頼を勝ち取ってきた結果であると同時に、ブロードバンド系のプロバイダーが解決しなければならない課題だと言える。

21～30位のプロバイダー

【21位】リムネット、【22位】SANNET、【23位】KCOM、【24位】TikiTikiインターネット、【25位】livedoor、【26位】アルファインターネット、【27位】JustNet、【28位】ドルフィンインターネット、【29位】InfoSphere、【30位】BEKKOAME



アンケート概要
インターネットマガジンのホームページ [NJump](http://internet.impress.co.jp) による、記述式アンケート。調査期間は、2000年2月9日から2月15日までの1週間。
[NJump internet.impress.co.jp](http://internet.impress.co.jp)

男女比

男性	女性	無回答
5188	156	11

年齢層

未成年	20代	30代	40代	50代	60以上	無回答
184	2106	2288	587	146	36	8

居住地域

北海道	東北	関東	北陸	中部	東海	近畿	中国	四国	九州	無回答
93	166	3145	135	110	420	811	178	73	211	13

フレッツ対応ではASAHIネットとWAKWAKが大幅ランクアップ

フレッツ・ISDN人気プロバイダーベスト10

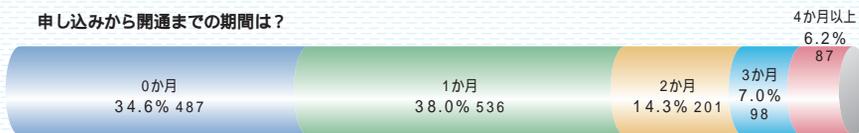
プロバイダー名	人数	満足度					
		料金	スピード	サポート	ウェブ	メール	回線品質
① @nifty	165	69.1	55.8	84.8	③79.4	87.9	79.4
② ASAHIネット	164	①98.8	③68.9	③89.6	78.0	81.1	87.2
③ DTI	126	72.2	①83.3	①96.8	②80.2	②95.2	②95.2
④ WAKWAK	110	②96.4	60.0	87.3	①92.7	③91.8	90.0
⑤ ODN	109	70.6	47.7	83.5	44.0	84.4	77.1
⑥ So-net	98	74.5	59.2	87.8	54.1	87.8	82.7
⑦ BIGLOBE	66	71.2	48.5	87.9	75.8	89.4	①95.5
⑧ IJ4U	64	53.1	②82.8	②93.8	51.6	①95.3	③93.8
⑨ OCN	62	53.2	40.3	77.4	59.7	88.7	72.6
⑩ ばらら	50	③86.0	62.0	84.0	66.0	90.0	92.0
⑩ AT&T WorldNet	50	72.0	66.0	82.0	74.0	70.0	86.0

12～20位のプロバイダー
 【12位】ZERO、【13位】DreamNet、【14位】リムネット、【15位】Panasonic Hi-HO、【16位】ZOOT、【17位】SANNET、【18位】Highway Internet、【19位】ドルフィンインターネット、【20位】KCOM

フレッツ・ISDN導入でプロバイダーは？



申し込みから開通までの期間は？



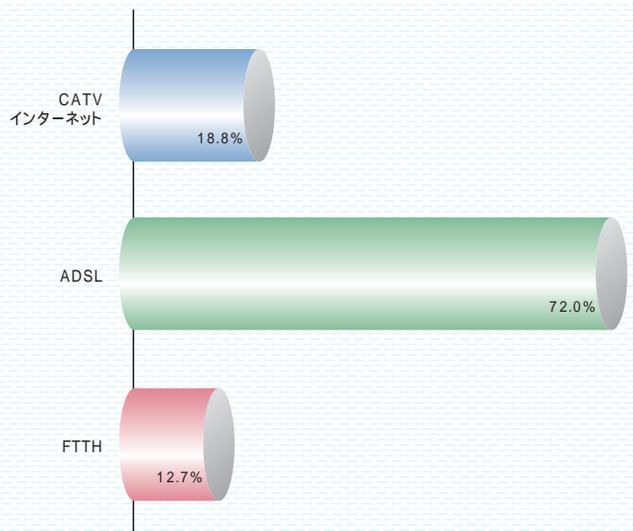
次の乗り換え目標は ADSLがダントツの一番人気

それでは、フレッツ・ISDNの利用者は現状に満足しているのだろうか。アンケートでは、さらに高速なCATVインターネットやADSLへの乗り換え予定があるかどうかを質問してみたが、なんと72%ものユーザーがADSLへの乗り換えを検討しているという結果となった。フレッツ・ISDNで電話料金は気にせずインターネットが使えるようになったものの、やはり64kbpsという速度ではもはや我慢できないユーザーが多いことを示している。フレッツ・ISDNとADSLではそれほど料金が変わらない点も、乗り換えを検討する要因になっている。

これに対して、CATVインターネットへの乗り換えを検討している人は18.8%と、それほど多くはない。サービスエリアの問題や、集合住宅などで加入を断られるケースの多さが、この差につながっていると言える。

また、さらに高速なFTTHサービスを検討しているユーザーも12.7%に達している。

乗り換えを検討しているサービス（複数回答）



常時接続時代のプロバイダーランキング

トップは@NetHome
東京めたりっく通信も健闘

ブロードバンド人気プロバイダーベスト5

プロバイダー名	人数	満足度					
		料金	スピード	サポート	ウェブ	メール	回線品質
① @NetHome	263	33.8	62.4	31.9	61.6	55.9	53.6
② ZAQインターネット	107	47.7	75.7	64.5	69.2	①87.9	72.0
③ 東京めたりっく通信	67	①82.1	①88.1	46.3	43.3	55.2	64.2
④ 東急ケーブルテレビ	62	74.2	83.9	①71.0	35.5	64.5	69.4
⑤ @nifty	29	58.6	86.2	55.2	①72.4	82.8	①79.3
(参考) イー・アクセス	52	57.7	86.5	65.4	80.8	84.6	82.7
(参考) フレッツ・ADSL	13	46.2	76.9	84.6	69.2	92.3	92.3

CATVインターネットとADSLのユーザーを対象したランキングでは、総合ランキングにも登場したプロバイダー4社に加えて、ADSLサービスを積極的に展開する@niftyがトップ5となった。

@NetHomeは全国18局のCATVで利用できる日本最大のCATVインターネットであり、その規模からも1位は納得のいくところだ。ただし、アンケートでは@NetHomeの満足度はあまり高くない。特に多くのユーザーが不満として挙げているのが、**IPルーターを使った複数台接続が禁止されている点だ**。@NetHomeが今後も加入者を伸ばせるかどうかは、こうしたユーザーの声に添えていけるかどうかにかかってくるだろう。

一方のADSLも順調に加入者を増やしている、イー・アクセスやフレッツ・ADSLのようにプロバイダーと回線提供会社が異なる形のサービスも人気を集めている。ただし、現状ではADSLは申し込みから開通まで2か月以上かかるケースも多く、この点がADSLの課題であるとも言える。

ブロードバンドユーザーの声

高速化にともない、それを支える回線の太さが問題になると思われるので、回線の混雑状況などをそれまでのアクセスポイントの状況と同じように、公開してみてもどうだろうか？(ADSL・20代男性)

CATV以外でも言えることだが、回線速度に対する価格設定が、首都圏レベルになってほしい。(CATV・30代男性)

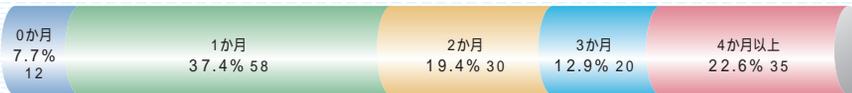
ローカルルーター設置が禁止されているのが不満。CATVのネット接続の場合、ルーター内は一般のLANと同じ。世界中からのアタック以前に足下のセキュリティがあまりにも脆弱だ！(CATV・20代男性)

ADSLも安くなってきたし、CATVも安くはないとまずいのでは？ 選択肢も多いことですから。(CATV・20代女性)

スピードが思ったほど出ていない。局からの距離が関係しているのではないかと思うが。(ADSL・40代男性)

ルーターの設定をユーザーが行うことが許されていないのが不満。いずれ改善される予定はあるとのことだが、どうなるかは未知数。早急に改善を望む。(ADSL・30代男性)

ADSL申し込みから開通までの期間は？



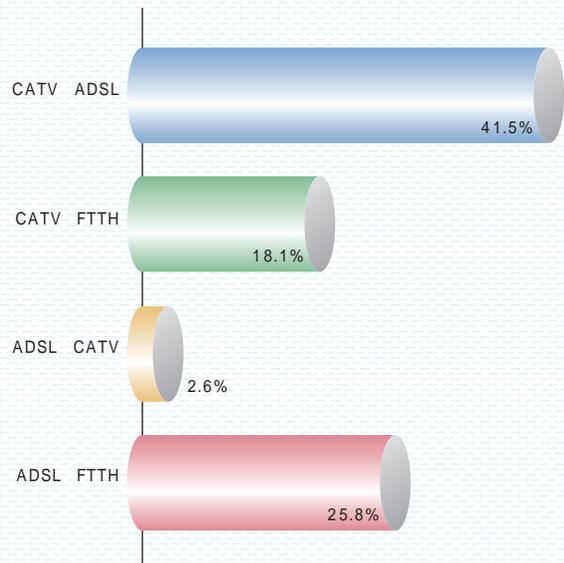
CATVユーザーもADSLへの乗り換えを希望 FTTHへの期待も高い

これまで、ブロードバンドと言えばCATVインターネットの独壇場だったが、ADSLが登場したことでこの状況も変わりつつある。

今回のアンケートでは、CATVインターネットとADSLのそれぞれのユーザーに対して、他のブロードバンドサービスへの乗り換えを検討しているかどうかという質問をした。CATVインターネットからADSLへの乗り換えを検討しているユーザーは41.5%にも上っている。これまで順調にユーザー数を増やしてきたCATVインターネットも、今後はADSLと競っていかねば、ユーザー数は減りかねない状況になってきたと言えるだろう。

逆に、ADSLからCATVインターネットへの乗り換えを検討しているユーザーは2.6%と少ない。とは言え、ADSLも安泰というわけではない。背後からは、さらに高速なFTTHサービスが迫っているからだ。アンケートでは、FTTHサービスへの乗り換えを考えているユーザーは、CATVインターネットで18.1%、ADSLでは25.8%という結果となった。ブロードバンドと言えども、これからはサービス面での競争が避けられない。もちろん、これはユーザーにとっては歓迎すべきことだ。

ブロードバンド間の乗り換え予定



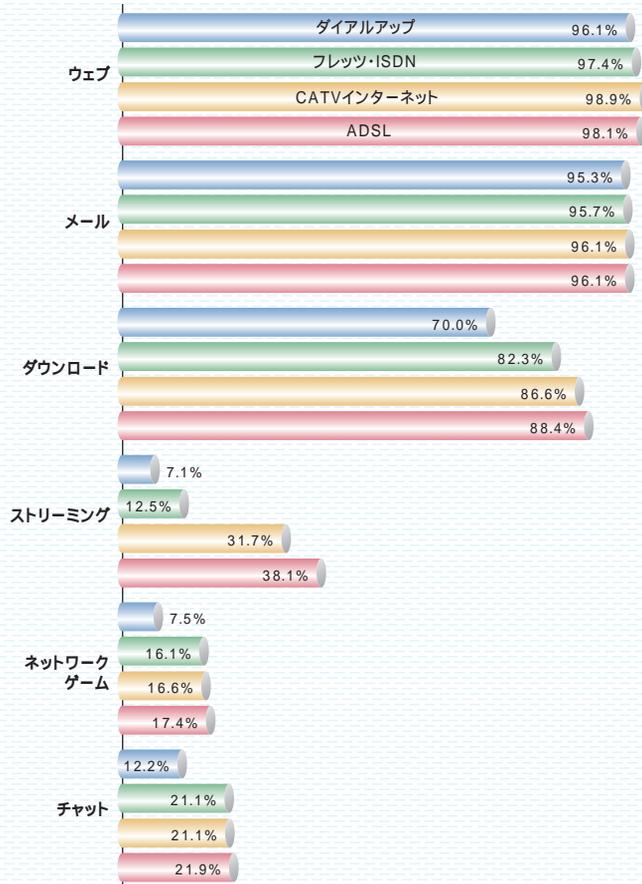
2001年のプロバイダー選びは 常時接続が必須条件

現在、通常のダイヤルアップでインターネットに接続している人にも、フレッツ・ISDNやCATVインターネット、ADSLといったサービスへの乗り換えを検討しているかを質問した。ADSLとCATVインターネットの両方について乗り換えを検討しているユーザーもいるため、この質問については複数回答となっている。全体では、いずれかのサービスへの乗り換えを予定しているユーザーの合計は68%にも達しており、次に契約加入するプロバイダーは常時接続を条件としているユーザーが大半であることを示している。

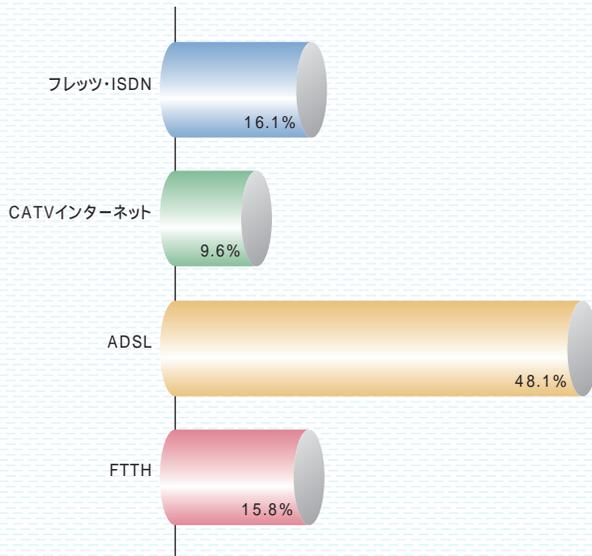
ここでもっとも人気が高いのはやはりADSLで、48.1%とほぼ半数の人がADSLへの乗り換えを検討している。また、乗り換えない予定がないとした人でも、その理由については大半の人がサービス対象地域外であるためと答えている。サービスエリアという条件さえ整えば、ADSLは一気にブロードバンドの主役に踊り出る可能性は高い。

一方、フレッツ・ISDNへの乗り換えを検討しているユーザーは16.1%と、それほど高い数字ではない。乗り換えない理由としては、ADSLの利用を検討しているからと答えた人が圧倒的に多い。すでにユーザーの興味はADSLに移り始めているようだ。

インターネットのおもな利用方法は？（複数回答）



ダイヤルアップユーザーの乗り換え予定（複数回答）



乗り換えない理由：フレッツ・ISDN

ADSLの利用を検討しているから	980
料金が高いから	349
サービス対象地域外だから	209
CATVインターネットの利用を検討しているから	172
それほどインターネットを利用していないから	138

乗り換えない理由：CATVインターネット

サービス対象地域外だから	708
ADSLの利用を検討しているから	523
集合住宅なので、サービスが受けられないから	435
料金が高いから	324
それほどインターネットを利用していないから	81

乗り換えない理由：ADSL

サービス対象地域外だから	570
料金が高いから	232
CATVインターネットの利用を検討しているから	135
現在の回線がISDNなので、変更が面倒だから	132
それほどインターネットを利用していないから	108

常時接続でインターネットの使い方が変わる

アンケートでは、インターネットをおもにどのように使っているかという質問も行った。ウェブやメールはほとんどの人が利用しているが、それ以外の使い方については、通常のダイヤルアップとそれ以外の環境では差が出ている。特に顕著なのはストリーミングで、ダイヤルアップとフレッツ・ISDNの差はわずかだが、CATVインターネットとADSLでは利用すると答えたユーザーが3割を超えている。

時間を気にせず、何時間でも使えるようになる常時接続環境の登場により、インターネットの使われ方も変わってきている。今後は常時接続を前提としたアプリケーションも増えてくるだろう。この流れに乗り遅れないためにも、まずはこの特集で常時接続対応プロバイダーの検討から始めてみよう。

サービスエリア拡大中! 常時接続の入門編

フレッツ・ISDN ランキング

フレッツ・ISDNは通信速度が64kbpsと遅いものの、サポートされている地域が広く、また、低価格で導入できるというメリットもある。フレッツ・ISDNに対応しているプロバイダーはかなり多い。ここでは、こうしたプロバイダーの特徴をランク付けし、それぞれの目的に合ったプロバイダーは、どこであるのかを見ていくことにしよう。

**最安値はASAHIネット
一部では無料プロバイダーも登場**

Ranking-1 月額料金ランキング

プロバイダー名	初期費用	利用料金	都道府県数	URL
1 ASAHIネット	なし	月額450円	47	www.asahi-net.or.jp
2 ZERO	なし	月額400円	23	www.zero.ad.jp
3 WAKWAK	なし	月額800円	47	www.wakwak.com
4 ぷらら	なし	月額800円	44	www.plala.or.jp
5 ZOOT	1,000円	月額1,000円	16	www.il24.net
6 InfoSphere	なし	月額1,200円	39	www.sphere.ne.jp
7 リムネット	3,000円	月額1,200円	6	www.rim.or.jp
8 DTI	2,000円	月額1,380円	11	www.dti.ad.jp
9 TikiTikiインターネット	2,000円	月額1,400円	14	www.spacetown.ne.jp

別途、年会費として3,800円が必要

【参考】地域限定型プロバイダー

プロバイダー名	初期費用	利用料金	対応都道府県	URL
freeserve	なし	月額0円	東京	www.freeserve.ne.jp
livedoor	なし	月額0円	東京	www.livedoor.com
ifree	10,000円	月額0円	三重	www.ifree.ne.jp
アルファインターネット	なし	月額300円	東京、大阪	www.alpha-net.ne.jp

まずは、基本中の基本。とにかく月額料金が安いプロバイダーのランキングから見てみよう。ただし、フレッツ・ISDNの対応地域はプロバイダーごとに大きく異なるため、なるべく全国で使えるプロバイダーを対象とすると、もっとも安いのは「ASAHIネット」という結果になる。ASAHIネットならフレッツ・ISDNが月額450円で利用できるので、フレッツ・ISDNの使用料(3,600円)と合わせても4,050円という安さだ。このほかにも、月額1,400円以下(フレッツ・ISDNの使用料と合わせて5,000円以下)となるプロバイダーも全部で9社ある。

一方、東京都内であればさらに安いプロバイダーもある。無料プロバイダーの「freeserve」と「livedoor」だ。どちらも画面上に広告が表示されるものの、プロバイダー代は無料だから、フレッツ・ISDNの使用料のみで接続できる。

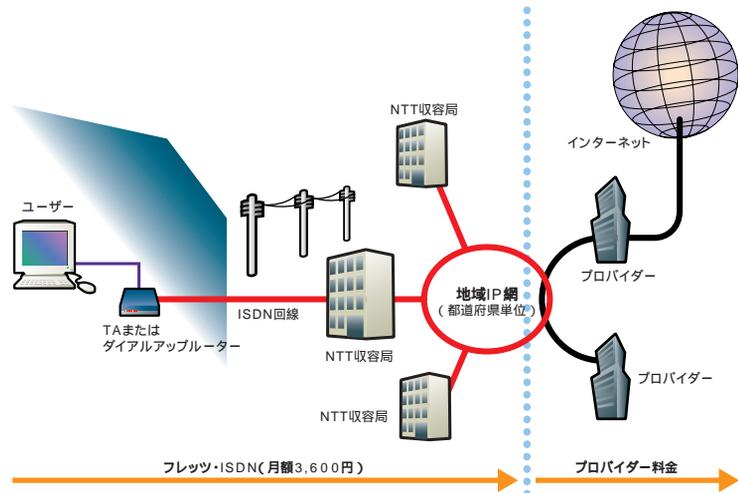
3,600円+プロバイダー料金
サービスエリアは全国に拡大中

フレッツ・ISDNを導入できる条件は、①自分の電話回線が入っている電話局(加入者局)がフレッツ・ISDNに対応していることと、②プロバイダーがその地域IP網にアクセスポイントを置いていることの2つだ。

フレッツ・ISDNの料金は月額3,600円の定額制(NTTに支払う)で、それ以外に接続先となるプロバイダーの料金が必要になる。これは、フレッツ・ISDNではNTTが用意した「地域IP網」からプロバイダーに接続し、そこからインターネットへとつながっているためだ(右図参照)。

この地域IP網は都道府県ごとに構築されているため、プロバイダーがどの都道府県の地域IP網に接続しているかによって、サービスエリアは変わってくる。一方、各都道府県内でのフレッツ・ISDN対応地域については、NTT東日本やNTT西日本の管轄ということになる。

- フレッツ・ISDN対応エリア
- www.ntt-east.co.jp/flets/ (NTT東日本)
 - www.ntt-west.co.jp/flets/ (NTT西日本)



Ranking-2 ダイアルアップ併用ランキング

自宅以外でも使うなら
追加料金なしのZERO

プロバイダー名	初期費用	利用料金	追加料金	URL
1 ZERO	なし	月額 400 円	なし	www.zero.ad.jp
2 ZOOT	1,000 円	月額 1,000 円	月額 100 円	www.il24.net
3 TikiTiki インターネット	2,000 円	月額 1,400 円	なし	www.spacetown.ne.jp
4 WAKWAK	なし	月額 1,700 円	なし	www.wakwak.com
5 Panasonic Hi-HO	なし	月額 1,800 円	なし	home.hi-ho.ne.jp
6 SANNET	なし	月額 1,800 円	なし	www.sannet.ne.jp
8 PEOPLE	なし	月額 1,800 円	なし	www.people.or.jp
7 ASAHI ネット	なし	月額 1,950 円	なし	www.asahi-net.or.jp
7 OCN ダイアルアクセス	なし	月額 1,950 円	なし	www.ocn.ne.jp
7 ODN	なし	月額 1,950 円	なし	www.odn.ne.jp
10 DreamNet	なし	月額 1,980 円	なし	www.dream.com
10 interQ	3,000 円	月額 1,980 円	なし	members.interq.or.jp
12 @nifty	1,000 円	月額 2,000 円	なし	www.nifty.com
12 BIGLOBE	なし	月額 2,000 円	なし	www.biglobe.ne.jp
12 So-net	なし	月額 2,000 円	なし	www.so-net.ne.jp
12 デオデオ インターネット	2,000 円	月額 2,000 円	なし	www.enjoy.ne.jp
12 Highway Internet	2,000 円	月額 2,000 円	なし	www.highway.ne.jp

別途、年会費として3,800円が必要

【参考】地域限定型プロバイダー

プロバイダー名	初期費用	利用料金	追加料金	対応都道府県	URL
freeserve	なし	月額 0 円	なし	東京	www.freeserve.ne.jp
livedoor	なし	月額 0 円	なし	東京	www.livedoor.com
Kyoto-Inet	2,000 円	年額 6,000 円	なし	京都	web.kyoto-inet.or.jp
UIUI	なし	年額 6,000 円	なし	東京	www.uiui.net

常にフレッツ・ISDNの環境からインターネットにアクセスするのではなく、外出先から接続することも多いという人は、その料金も気になるころだろう。

このランキングは、ダイアルアップ接続で20時間以上利用した場合のフレッツ・ISDN + ダイアルアップ接続の合計で順位を決めたものだ。こうして見ると、ダイアルアップ接続も併用したときにもっとも安いプロバイダーは「ZERO」であることがわかる。フレッツ・ISDNは固定料金でも、ダイアルアップ接続料金は追加料金が必要となるプロバイダーもあるため、このランキングでは追加料金が不要のプロバイダーが上位を占めた。

もっとも、外出先での利用が年に数回程度であるならば、下のコラムのようにダイアルアップは別のプロバイダーと契約するというのも悪くない選択肢だ。

常時接続時代のプロバイダーランキング

モバイルにピッタリなセカンドプロバイダー

自宅ではフレッツ・ISDNでも、外出先ではモバイルでインターネットに接続したいとなれば、やはりダイアルアップ接続環境も必要だ。できれば、フレッツ・ISDNでもモバイルでも使えるプロバイダーが理想的だが、ここではモバイル用に別のプロバイダーと契約する方法を考えてみよう。

携帯電話・PHS会社のプロバイダー

最近では、携帯電話やPHSを使ってモバイル環境で接続することも多いと思う。その場合には、携帯電話・PHS各社が提供するインターネット接続サービスを使うとよい。たとえば、NTTドコモは通話料のみでインターネットへの接続ができる「mopera」というプロバイダーサービスを行っている。ただし、こうしたサービスは接続のみの提供となり、メールアドレスなどは用意されない場合もあるので、単純に接続用と割り切って契約するほうがいいだろう。

通信会社名	サービス名	接続料金	URL
NTTドコモ	mopera	通話料のみ	www.mopera.net
au	au.net	0.15 円 1 パケット	www.au-net.au.kddi.com
DDIポケット	PRIN	15 円分 (通話料込み)	www.prin.ne.jp
J-PHONE	アクセス インターネット	15 ~ 30 円分 (通話料込み)	www.j-phone.com

完全従量制プロバイダーを使う

ひんぱんにはダイアルアップ接続しないけれどもときには利用するという人は、完全従量制のプロバイダーがおすすだ。大手のプロバイダーの中では、ぶららとDreamNetがこうした料金コースを設けている。どちらも、使わなければ月額料金は一切かからないので、いざというときのために契約しておくのが便利だ。また、ぶららやDreamNetには、多くの携帯電話・PHSからの接続に対応しているというメリットもある。

完全従量制コース

プロバイダー名	コース名	料金	URL
DreamNet	エントリー-0	7 円/分	www.dream.com
ぶらら	ぶららライト	5 円/分	www.plala.or.jp

海外ローミングサービス

海外でインターネットに接続した場合には、現地のアクセスポイントが利用できる「ローミングサービス」に対応しているプロバイダーを選ぼう。多くのプロバイダーでは20円/分程度の追加料金が必要な場合が多い。こうした中、ぶららとSo-netでは追加料金不要のローミングサービスを提供している。海外出張の多い人は要注目だ。

海外ローミングが追加料金なしのプロバイダー

プロバイダー名	対応国数	URL
So-net	60 以上	www.so-net.ne.jp/access/roaming/
ぶらら	50 以上	www.plala.or.jp/access/living/ap/

セカンドプロバイダーはメールに注意

セカンドプロバイダーを使うときに注意したいのは、メールの扱いだ。一部のプロバイダーでは、自社の回線以外からではメールの送受信ができないように設定されている場合があるからだ。こうした制限があるかどうかは、各プロバイダーのホームページの「FAQ」といったコーナーを見れば掲載されているはず。フレッツ・ISDN用に契約するプロバイダーを選ぶ際には、他のプロバイダーからメールの送受信ができるかどうかを調べておこう。

Ranking-3 ウェブ容量・CGIランキング

プロバイダー名	初期費用	利用料金	ウェブ容量	ウェブ追加料金	URL
1 interQ	3,000円	月額3,900円	100MB	-	members.interq.or.jp
2 WAKWAK	なし	月額800円	50MB	-	www.wakwak.com
3 VC-net	3,000円	月額2,500円	30MB	月額1,000円/2MB	www.vc-net.ne.jp
4 ZERO	なし	2 月額400円	10MB	月額200円/5MB	www.zero.ad.jp
4 Panasonic Hi-HO	なし	月額1,800円	10MB	月額500円/1MB	home.hi-ho.ne.jp
4 @nifty	1,000円	月額2,000円	10MB	月額200円/5MB	www.nifty.com
4 リムネット	なし	月額2,800円	10MB	月額200円/2MB	www.rim.or.jp
8 デオデオインターネット	2,000円	月額2,000円	5MB	-	www.enjoy.ne.jp
9 ぶらら	なし	1 月額800円	0MB	月額500円/5MB	www.plala.or.jp
9 ZOOT	1,000円	月額1,000円	0MB	月額100円/10MB	www.il24.net

1 各種オプション料金（メール・ウェブ容量増設）に利用できるフリーチケット1,200円分が含まれる
2 別途、年会費として3,800円が必要

【参考】地域限定型プロバイダー

プロバイダー名	初期費用	利用料金	ウェブ容量	対応都道府県	URL
AIRインターネット	2,000円	月額1,800円	無制限	埼玉、千葉、東京、神奈川、大阪	www.airnet.ne.jp
インターネットいわふね	なし	月額1,900円	無制限	新潟	www.iwafune.ne.jp
インターネット新発田	なし	月額1,900円	無制限	新潟	www.inet-shibata.or.jp

ウェブ容量ならinterQ
WAKWAKの安さも魅力

個人ホームページを作るときに、気になるのがウェブ容量と、自作CGIが設置できるかどうかという点だ。そこで、自作CGIの設置が可能プロバイダーのうち、基本料金で使えるウェブ容量を大きいもの順に並べたのがこのランキングだ。標準で100MBが使えるinterQが1位だが、月額800円で50MBが使えるWAKWAKも魅力的だ。

ウェブ容量は、標準で用意されていてあとから追加できないもの、標準で用意されていて追加できるもの、標準では用意されておらずあとから追加するものの3種類に分かれるので、用途に応じて選ぶとよい。たとえば、ZOOTは基本料金ではウェブ容量なしだが、100円で10MB増設できるため、トータルでは他のプロバイダーよりも安くなる。

メールアドレスの多さなら
Highway Internet

フレッツ・ISDNでは、家庭内のパソコンをLANで接続しておき、ダイヤルアップルーターを使って、家族で共有して使うことも多い。そのときに問題となるのが、メールアドレスだ。

標準でいくつのメールアドレスが使えるのか、そして、メールを追加するにはいくらかかるのかをまとめたのが右の表だ。たとえばHighway Internetは、契約すると4つのメールアドレスを持てるので、4人家族であれば別途契約することなく1人で1つのメールアドレスを使うことができる。

だがメール機能で選ぶときには、アドレス数だけでなくメールの送受信サイズも重要だ。表には示していないが、大きな添付ファイルを含むメールをひんぱんにやりとりする人は、送受信できるメールの最大サイズにも気を向けるべきだろう。

Ranking-4 メール機能ランキング

プロバイダー名	メール個数	メール追加	初期費用	利用料金	URL
1 Highway Internet	4	-	2,000円	月額2,000円	www.highway.ne.jp
2 ZERO	3	月額100円/1個	なし	2 月額400円	www.zero.ad.jp
2 PUON	3	月額250円/1個	1,000円	月額2,350円	www.puon.net
4 VC-net	2	月額500円/1個	3,000円	月額3,000円	www.vc-net.ne.jp
5 InfoSphere	1	月額100円/1個	なし	月額1,200円	www.sphere.ne.jp
6 @nifty	1	月額200円/1個	1,000円	月額2,000円	www.nifty.com
7 ASAHIネット	1	月額200円/1個	なし	月額450円	www.asahi-net.or.jp
8 WAKWAK	1	月額200円/1個	なし	月額800円	www.wakwak.com
9 ぶらら	1	月額200円/1個	なし	1 月額800円	www.plala.or.jp
10 生協インターネット	1	月額200円/1個	なし	3 月額18,000円	www.seikyuu.ne.jp

1 各種オプション料金（メール・ウェブ容量増設）に利用できるフリーチケット1,200円分が含まれる
2 別途、年会費として3,800円が必要

【参考】地域限定型プロバイダー

プロバイダー名	メール個数	メール追加	初期費用	利用料金	対応都道府県	URL
フェニックスクラブ	10	-	4,800円	月額1,500円	北海道	www.phoenix-c.or.jp
MINC	10	月額200円/1個	2,000円	月額2,500円	鹿児島	www.minc.ne.jp
リフレンターネット	6	-	なし	年額12,000円	和歌山	www.rifnet.or.jp
Asahiインターネット	5	月額300円/1個	なし	月額1,500円	新潟	www.ash.ne.jp
インターネットビークル	5	月額500円/1個	なし	年額19,200円	東京	www.inv.co.jp
ICN	5	初期費用2,000円	3,000円	月額1,280円	新潟	www.icn.ne.jp
d-bネット	5	年額2,000円/1個	5,000円	年額15,000円	大分	www.d-b.ne.jp

固定IPが1,000円で使えるZOOT
地域型プロバイダーにも要注目

Ranking-5 固定IPアドレス利用ランキング

プロバイダー名	初期費用	利用料金	固定IP	URL
1 ZOOT	1,000円	月額1,000円	1	www.il24.net
2 VC-net	3,000円	月額2,500円	1	www.vc-net.ne.jp
3 InfoSphere	5,000円	月額4,800円	1	www.sphere.ne.jp
	5,000円	月額6,800円	8	

【参考】地域限定型プロバイダー

プロバイダー名	初期費用	利用料金	固定IP	対応都道府県	URL
MEDIA NET Internet	6,000円	月額1,400円	1	京都	www.media-net.ne.jp
CDS-Net	2,857円	月額1,429円	1	神奈川	www.cds.ne.jp
B-Jungleインターネット	2,000円	月額18,000円	1	滋賀	www.jungle.or.jp
CISNet	5,000円	月額23,000円	1	広島	www.cisnet.or.jp
ひろしまC-DAS インターネット	3,000円	月額23,000円	1	広島	www.hiroshima-cdas.or.jp
インターネットWIN	2,000円	月額2,300円	1	東京	www.win.or.jp
ディーシーエヌ・ インターネット	5,500円	月額2,450円	1	長野	www.dcn.ne.jp
EditNet	なし	月額2,500円	1	東京	www.edit.ne.jp
キャンパスネット	なし	月額2,500円	1	東京	www.campus.ne.jp
シンフォニア・ インターネット	3,500円	月額2,500円	1	愛知	www.sinfonia.or.jp
インターネットいわふね	なし	月額2,600円	1	新潟	www.iwafune.ne.jp
インターネット新発田	なし	月額2,600円	1	新潟	www.inet-shibata.or.jp
キャンパスネット	なし	月額3,000円	8	東京	www.campus.ne.jp
インターネットMAGMA	3,000円	月額3,000円	1	福岡、熊本	www.magma.ad.jp
ダンスインターネット	5,000円	月額3,000円	1	京都	www.dance.ne.jp
まほろば	なし	月額3,000円	1	奈良	home.mahoroba.ne.jp

フレッツ・ISDNでは常時接続されているから自宅にサーバーを置きたいという人も多いただろう。そのときに必要となるのが固定IPアドレスだ。ランキングでは固定IPアドレスのサービスをしているプロバイダーを料金順に並べてあるが、全国展開しているプロバイダーで固定IPアドレスをサービスしているところは非常に少ない。この中では、月額1,000円で利用できるZOOTが目立つ。一方、地域型のプロバイダーでは意外と多くのプロバイダーが固定IPをサポートしている。

もっとも、フレッツ・ISDNは64kbpsであるため本格的なサーバーを構築するには回線が細すぎる。だが、知人同士でのちょっとしたファイルのやりとりをするときには便利だ。また、Linuxなどを使って自宅にサーバーを置いてみたいという好奇心旺盛な人にとっても、お手頃なサービスだ。

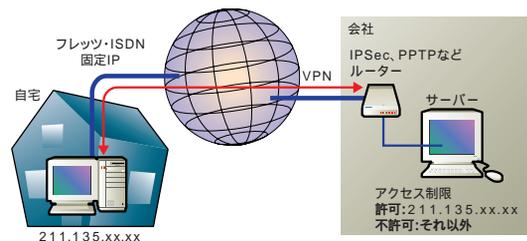
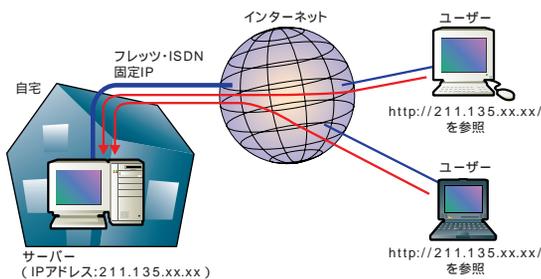
常時接続時代のプロバイダーランキング

固定IPになるとどういったメリットが?

① サーバーの設置

サーバーは固定IPアドレスでなくても設置できるが、接続するたびにIPアドレスが変更されてしまうため、不特定多数の人に公開するのは難しい。IPアドレスが固定でない場合、たとえば、ある瞬間にはhttp://212.135.xx.xx/でアクセスできたのに、別の時間にはhttp://212.135.zz.zz/でないとアクセスできないといったことになってしまう。そのため、サーバーを設置するには固定IPアドレスが事実上必須となる。

また、固定IPアドレスであればURLはIPアドレスではなく、自分で取得したドメイン名を使ってサーバーを公開できる。



② セキュリティー機能が使える

IPアドレスが固定になれば、それによってセキュリティを高めることも可能になる。たとえば、会社に置いてあるサーバーに、ある特定のIPアドレスでないとアクセスできないように設定するといった使い方だ。IPアドレスが固定でないと、こうした設定はできない。

また、さらにセキュリティを高めたいのであれば、「PPTP」や「IPSec」を使ってVPNを使う方法も考えられる。PPTPの場合には固定IPは必要ないが、IPSecではIPアドレスをもとにセキュリティならびに暗号化の設定をするため、固定IPでないと設定するのが難しい。PPTPやIPSecを使ってVPNを作れば、在宅勤務も安全に実現できるようになるだろう。

Ranking-6 ホスティング併用ランキング

プロバイダー名	ホスティング料金				フレッツ・ISDN		URL
	初期費用	月額料金	ウェブ	メール	初期費用	月額料金	
1 ASAHIネット	10,000円	2,800円	50MB	1個	なし	450円	www.asahi-net.or.jp
2 interQ	3,000円	3,800円	100MB	1個	なし	100円	members.interq.or.jp
3 TikiTikiインターネット	10,000円	3,000円	15MB	1個	2,000円	1,400円	www.tiki.ne.jp
4 リムネット	4,300円	3,700円	100MB	10個	3,000円	1,200円	www.rim.or.jp
5 InfoSphere	3,000円	3,500円	50MB	無制限	なし	1,200円	www.sphere.ne.jp
6 DION	8,000円	3,500円	20MB	3個	なし	1,950円	www.dion.ne.jp
7 OCNダイヤルアクセス	3,000円	3,500円	10MB	5個	なし	1,950円	www.ocn.ne.jp
8 VC-net	5,000円	3,500円	20MB	5個	3,000円	2,500円	www.vc-net.ne.jp

【参考】地域限定型プロバイダー

プロバイダー名	ホスティング料金				フレッツ・ISDN		サービス提供地域	URL
	初期費用	月額料金	ウェブ	メール	初期費用	月額料金		
AIRインターネット	13,300円	3,300円	無制限	1個	2,000円	1,800円	埼玉、千葉、東京、神奈川、大阪	www.airnet.ne.jp
@nsk	3,000円	1,800円	10MB	1個	3,000円	1,500円	東京、富山、石川、福井	www.nsknet.or.jp
HOKURIKU LAND	10,000円	4,500円	30MB	10個	3,000円	1,500円	富山、石川、福井	www.hokuriku.ne.jp
JustNet	10,000円	3,900円	25MB	5個	なし	1,950円	東京（3月以降全国対応）	www.justnet.ne.jp
UIUI	なし	500円	100MB	無制限	10,000円	1,800円	東京	www.kiwi.ne.jp

ホスティングも併用するなら 最安値はASAHIネット

フレッツ・ISDNでも、固定IP接続サービスを使えば自宅でサーバーの運用はできる。しかし、フレッツ・ISDNの通信速度は64kbpsと遅いうえに、実際のサーバー管理はとて手間がかかるものだ。サーバーを立

ててみたいという興味だけならばそれでもいいが、きちんとしたサーバーが必要ならば

やはりホスティングサービスを利用するのが得策だ。

このランキングでは、フレッツ・ISDNとホスティングサービスの両方を提供しているプロバイダーを対象としている。この中でも

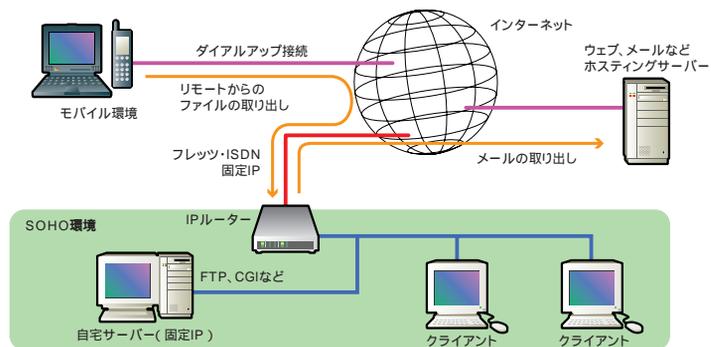
とも安いのは、ASAHIネットという結果になった。ただし、ここでは単純に料金だけで順位を決めているが、ホスティングサービスは業者によってメールの個数やウェブ容量などが大きく異なっている。ホスティングサービスを利用する場合には、メールの個数やウェブ容量がどれだけ必要かによって、ベストのプロバイダーも変わってくる点に注意したい。

ホスティング+固定IPで作るSOHO環境

フレッツ・ISDNは一般家庭だけを対象としたサービスではない。ダイヤルアップルーターを使えば複数台のパソコンから利用できるため、SOHO環境でも安価な接続回線として有効に使える。

特にSOHO環境におすすめなのが、フレッツ・ISDNとホスティングサービスの併用だ。インターネットへの接続は固定料金で、独自ドメインを使ったメールやウェブサーバーが立てられる。しかも、面倒な管理は不要だ。メールはいつでも送受信できるようになり、インターネットに接続するたびに料金がかかることもない。

また、取引先とファイルのやりとりをするような場合には固定IPサービスで契約し、自社内にFTPサーバーを構築する



方法が有効だ。FTPサーバーという大げさだが、ウィンドウズ98やマッキントッシュなどで動作するものもあるから、それらを使えば手軽にFTPで特定の相手とファイルがやり取りできるようになる。また、FTPサーバー以外でも固定IPの利用価値は高く、以下のような使い方が考えら

れる。自社内にCGI専用のウェブサーバーを立てる……ホスティングサービスでCGIが許可されていない場合などに便利。ウィンドウズ2000でPPTPサーバーを立てる……外出先からインターネット経由で社内のLANにアクセスできる

ISDNユーザーにはオススメだが アナログからの移行は要検討

フレッツ・ISDNは、ISDNを使って定額でインターネットに接続できるサービスであり、すでにISDN回線を使っているユーザーならば、わずかな費用をNTTに支払うだけでフレッツ・ISDNを導入できる。

しかし、現在アナログ回線を使っているユーザーがフレッツ・ISDNを導入する場合には、ISDNへの回線工事、TAやダイヤルアップルーターの購入、の2つが必要となるため、初期費用は数万円にもなってしまう。そう考えると、はたしてフレッツ・ISDNを導入する価値があるのかは微妙だ。というのも、これからはADSLという選択肢も出てくるからだ。

ADSLの導入にも、だいたい初期費用として3万円程度が必要になる。そうなると、フレッツ・ISDNは見送って、ADSLの開始を待ったほうがよいという考え方も出てくる。

アナログ フレッツ・ISDN



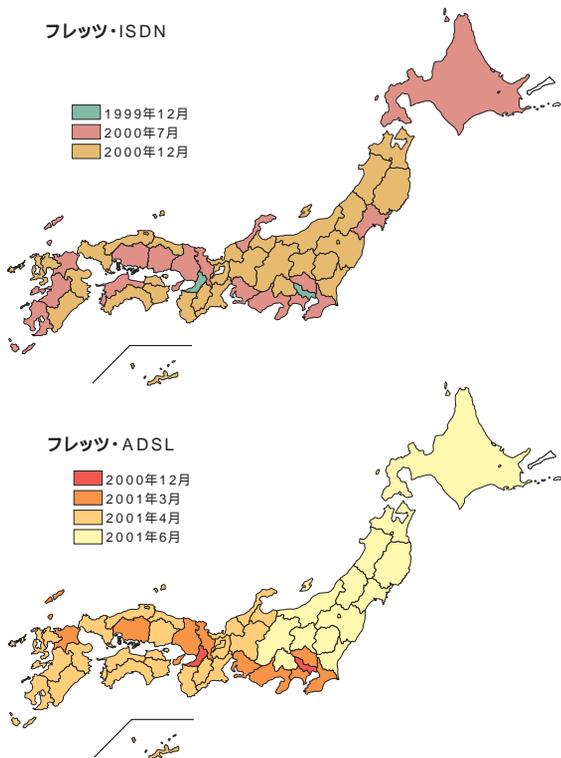
ISDN フレッツ・ISDN



アナログ ADSL(BIGLOBE・イーアクセス)



2001年最大の難問 フレッツ・ISDNにするか？ ADSLを待つか？



「フレッツ・ISDN」の対応地域なら
「フレッツ・ADSL」にも期待が持てる

フレッツ・ISDNはこの1年で提供地域が大きく広がった。一方、フレッツ・ISDNと同じ仕組みでADSLを提供する「フレッツ・ADSL」も、今後は地域の拡大が予定されている。これから1年も経てば、そのサポート地域は現在のフレッツ・ISDNの地域とほとんど重なってくると予想される。現在はフレッツ・ISDNしかサポートしていない地域でも、1年以内には10倍以上も高速なADSL回線が手に入る可能性は高い。

そういった意味で、フレッツ・ISDNを導入しようとする前には、あらかじめ自分の地域でフレッツ・ADSLがいつごろに利用できるようになるのかを調べておいたほうがよい。フレッツ・ADSLの展開地域はNTT東日本とNTT西日本のホームページで随時公開されるので、ADSLの導入を考えている人はなるべく定期的にチェックしよう。

www.ntt-east.co.jp/flets/ (NTT東日本)

www.ntt-west.co.jp/ipnet/ip/adsl/ (NTT西日本)

常時接続時代のプロバイダーランキング

いよいよやってくるブロードバンドの本命

ADSL ランキング

ADSLは1.5Mbpsの高速常時接続回線だ。現在はサポートされている地域が少ないが、ADSLがサポートされている地域では、いくつかのプロバイダーの中から選択できる。ここでは、ADSLのプロバイダーを選ぶときに、どのプロバイダーが最適なのか、用途別に見ていこう。

Ranking-1 月額料金ランキング

プロバイダー名	月額料金	初期費用	通信速度	回線	URL
1 WAKWAK	5,400円 ¹	3,600円	下り1.5M、上り512k	フレッツ・ADSL	www.wakwak.com
2 アルファインターネット	5,580円	3,600円	下り1.5M、上り512k	フレッツ・ADSL	www.alpha-net.ne.jp
3 UIUI	5,600円	3,600円	下り1.5M、上り512k	フレッツ・ADSL	www.uiui.net
3 ぶらら	5,600円 ²	3,600円	下り1.5M、上り512k	フレッツ・ADSL	www.plala.or.jp
5 めたりっく通信	5,687円	32,000円(R) / 27,000円(B)	下り1.6M、上り288k	独自回線	www.metallic.co.jp
6 OCN	5,700円	27,800円(R) / 27,800円(U)	下り1.5M、上り512k	アッカ・ネットワークス	www.ocn.ne.jp
7 @nifty	5,800円	30,300円(R) / 18,100円(U)	下り1.5M、上り512k	アッカ・ネットワークス	www.nifty.com
7 ODN	5,800円	6,600円	下り1.5M、上り512k	J-DSL	www.odn.ne.jp
7 Panasonic Hi-HO	5,800円	35,600円(R) / 13,400円(U)	下り1.5M、上り512k	イー・アクセス	home.hi-ho.ne.jp
7 U-netSURF	5,800円	37,600円(R) / 13,400円(U)	下り1.5M、上り512k	イー・アクセス	www.netsurf.ad.jp
10 ASahiネット	6,000円	3,600円	下り1.5M、上り512k	フレッツ・ADSL	www.asahi-net.or.jp
10 DS Networks	6,000円	3,600円	下り1.5M、上り512k	フレッツ・ADSL	www.ds-networks.com
10 DTI	6,000円	30,800円(R) / 10,600円(U)	下り1.5M、上り512k	イー・アクセス	www.dti.ad.jp
10 DS Networks	6,000円	32,800円(R) / 12,600円(U)	下り1.5M、上り512k	イー・アクセス	www.ds-networks.com
15 @nsk	6,100円	6,600円	下り1.5M、上り512k	フレッツ・ADSL	www.nsknet.or.jp
15 Panasonic Hi-HO	6,100円	3,600円	下り1.5M、上り512k	フレッツ・ADSL	home.hi-ho.ne.jp
15 サン・インターネット	6,100円	5,600円	下り1.5M、上り512k	フレッツ・ADSL	www.sun-inet.or.jp

1 月間転送量1GBまで(以降100円/100MB)
2 フリーチケット1,200円分を含む
(R)...ルータータイプ、(B)...ブリッジタイプ、(U)...USBタイプ

トップはWAKWAK
制限なしではアルファインターネット

月額料金の安い順でプロバイダーを並べたのが上の表だ。もっとも月額料金が安いのはWAKWAKだが、WAKWAKは月間1GB以上の通信については従量課金となる料金体系のため、こうした制限のないプロバイダーとしてはアルファインターネットの料金が一番安いということになる。

もっとも、月額料金はプロバイダーごとにそれほど大きな違いはないが、初期費用は数千円から数万円までかなりの開きがある。この違いは、おもに利用するADSLモデムの種類によるものだ。料金の傾向としては、複数台のパソコンが接続できるルータータイプのモデムを使う場合には初期費用が高くなり、1台しか接続できないUSBタイプやブリッジタイプの場合には初期費用は安くなる(モデムの違いについては次ページを参照)。

ADSLも「プロバイダー」で選ぼう

いままでは、1つのプロバイダーが1つのキャリア(ADSL通信業者)にしか対応していなかった。そのため、キャリアを決めて、対応するプロバイダーを選択するという形が多い。

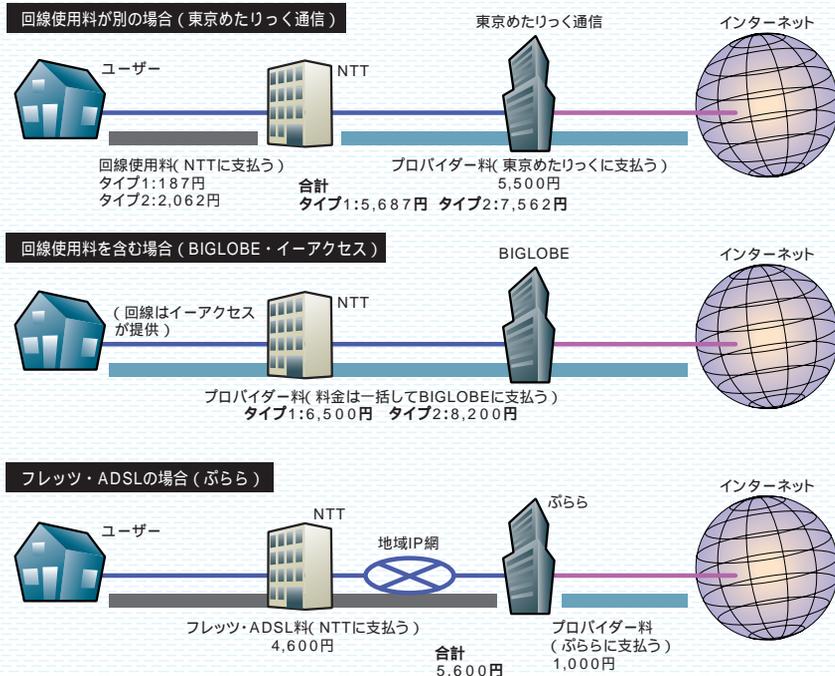
しかし最近になって、複数のキャリアをサポートするプロバイダーも増えてきた。そうすると、プロバイダーを選択して、対応するキャリアを選択するという形をとることができ、ADSLもダイヤルアップ接続のように「どのプロバイダーで選ぶか」という観点から選択していくことになるだろう。

ADSLキャリア名	対応プロバイダー	URL
アッカ・ネットワークス	@nifty、OCN	www.acca.ne.jp
イー・アクセス	@nifty、BIGLOBE、DS Networks、GOL、DTI、Panasonic Hi-HO、SANNET、U-netSURF、リムネット	www.eaccess.net
フレッツ・ADSL	@nifty、@nsk、AIRnet、ASAHIネット、AT&T WorldNet Service、BIGLOBE、COMSインターネット、DION、DreamNet、DS Networks、DTI、IJ4U、interQ、KIWIインターネット、OCN、Panasonic Hi-HO、SANNET、So-net、UIUI、VC-net、WAKWAK、XAXON INTERNET、アルファインターネット、キムバスネット、サン・インターネット、ぶらら、リムネット	www.ntt-east.co.jp/flets/ (東日本) www.ntt-west.co.jp/flets/ (西日本)
J-DSL	@nifty、ODN	www.odn.ne.jp/infoodn/j-dsl/

ADSLの「月額料金」は こうして決まる

ADSLを使うには、NTTに「回線使用料」を支払う必要がある。回線使用料は、電話を共有する場合を「タイプ1」といい月額187円、電話と共有せずにADSL専用として使う場合を「タイプ2」といい月額2,072円のそれぞれがかかる。この料金は、プロバイダーの料金に含まれることもあるが、その場合、プロバイダーが代行して回収しているだけであり、無料というわけではない。

フレッツ・ADSLの場合には、フレッツ・ADSLの料金が月額4,500円と決まっており、それに各プロバイダーが定めたプロバイダー料金をさらに支払うという形になっている。フレッツ・ADSLは、タイプ1（電話と共用）しかなく、月額4,600円にはタイプ1の料金である187円も含まれている。



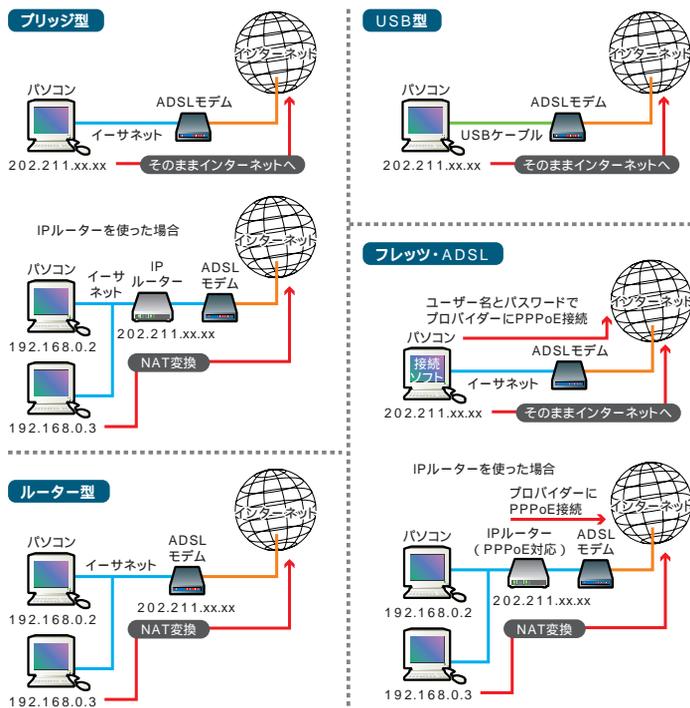
常時接続時代のプロバイダーランキンング

3種類の異なる方式ADSLモデムは接続タイプに要注意

ADSLモデムは、USB型、ブリッジ型、ルーター型の3つに分類できる。このうち、USB型はパソコンに直結して使うものだ。

ブリッジ型とルーター型はどちらもイーサネットのコネクターが付いていて、パソコンとはイーサネットケーブルで接続する。前者には1つのコネクターしか付いていないため1台のパソコンしか接続できないが、後者には複数のコネクターが付いているため、複数台のパソコンを接続できる。フレッツ・ADSLの場合にはブリッジ型のADSLモデムが貸し出される（ルーター型の選択はできない）。

ブリッジ型のADSLモデムであっても、その下に「IPルーター」（ローカルルーター）と呼ばれる製品をつなげると、複数台のパソコンを接続できる。ただし、フレッツ・ADSLの場合にはPPPoE（PPP over Ethernet）対応のルーターでないと使えないので、購入時には注意したい。



Ranking-2 ダイアルアップ併用ランキング

プロバイダー名	回線	初期費用	月額料金	通信速度	URL
1 UIUI	フレッツ・ADSL	3,600円	5,600円	下り1.5M、上り512k	www.uiui.net
2 OCN	アッカ・ネットワークス	27,800円(R) / 27,800円(U)	5,700円	下り1.5M、上り512k	www.ocn.ne.jp
3 @nifty	アッカ・ネットワークス	30,300円(R) / 18,100円(U)	5,800円	下り1.5M、上り512k	www.nifty.com
4 ODN	J-DSL	6,600円	5,800円	下り1.5M、上り512k	www.odn.ne.jp
5 U-netSURF	イー・アクセス	37,600円(R) / 13,400円(U)	5,800円	下り1.5M、上り512k	www.netsurf.ad.jp
6 DS Networks	フレッツ・ADSL	3,600円	6,000円	下り1.5M、上り512k	www.ds-networks.com
7 @nsk	フレッツ・ADSL	6,600円	6,100円	下り1.5M、上り512k	www.nsknet.or.jp
8 サン・インターネット	フレッツ・ADSL	5,600円	6,100円	下り1.5M、上り512k	www.sun-inet.or.jp

(R) ...ルータータイプ、(U) ...USBタイプ

モバイルで使えるADSL対応プロバイダー

プロバイダー名	ADSLキャリア	初期費用	月額料金	PIAFS	PacketOne	海外ローミング料金	URL
@nifty	アッカ・ネットワークス	30,300円(R) / 18,100円(U)	5,800円			0~20円/分	www.nifty.com
	イー・アクセス	36,100円(R) / 15,900円(U)	6,500円				
ASAHIネット	フレッツ・ADSL	4,600円	6,800円			0~8円/分	www.asahi-net.or.jp
	イー・アクセス	35,600円(R) / 13,400円(U)	6,500円			10~20円/分	www.biglobe.ne.jp
BIGLOBE	フレッツ・ADSL	3,600円	6,800円				
	イー・アクセス	35,600円(R) / 13,400円(U)	6,500円				
DreamNet	フレッツ・ADSL	3,600円	6,580円		x	20~50円/分	www.dream.com
	イー・アクセス	37,600円(R) / 13,400円(U)	5,800円		x	3.74~26.4ドル/時	members.interq.or.jp
interQ	アッカ・ネットワークス	27,800円(R) / 27,800円(U)	5,700円			18円/分	www.ocn.ne.jp
	フレッツ・ADSL	3,600円	6,550円				
OCN	J-DSL	6,600円	5,800円			30円/分	www.odn.ne.jp
	イー・アクセス	35,600円(R) / 13,400円(U)	6,300円			20~30円/分	www.sannet.ne.jp
SANNET	フレッツ・ADSL	3,600円	6,400円				
	イー・アクセス	37,600円(R) / 13,400円(U)	5,800円		x	20円/分	www.netsurf.ad.jp
U-netSURF	フレッツ・ADSL	3,600円	5,600円		x	追加料金なし	www.plala.or.jp
	イー・アクセス	37,600円(R) / 13,400円(U)	5,800円				
ぶらら	フレッツ・ADSL	3,600円	5,600円				
リムネット	フレッツ・ADSL	4,100円	6,400円			2.44~13.39ドル/時	www.rim.or.jp

(R) ...ルータータイプ、(U) ...USBタイプ

トップは低価格のUIUI
日本全国で使うならOCN

ADSLは常時接続なので、基本的にいちいちダイアルアップする必要はない。しかし、ときには外出先からもプロバイダーに用意さ

れたアクセスポイントを使って接続したいこともある。

ADSL対応のプロバイダーの中には、ダイアルアップ接続を併用すると追加料金がかかる場合もあるし、そもそもダイアルアップを用意していないプロバイダーも多い。ここで

のランキングは、追加料金がかからずにダイアルアップ接続のできるプロバイダーをADSLの月額料金順に並べたものだ。

またモバイルで使うなら、料金だけでなくPHSなどに対応しているかどうか、海外でも使えるかどうかにも注意したい。

Ranking-3 ウェブ容量・CGIランキング

プロバイダー名	回線	ウェブ容量	初期費用	月額料金	通信速度	URL
1 AIRnet	フレッツ・ADSL	無制限	5,600円	6,400円	下り1.5M、上り512k	www.airnet.ne.jp
2 interQ	フレッツ・ADSL	100MB	6,600円	8,500円	下り1.5M、上り512k	members.interq.or.jp
3 WAKWAK	フレッツ・ADSL	50MB	3,600円	5,400円	下り1.5M、上り512k	www.wakwak.com
4 KIWIインターネット	フレッツ・ADSL	50MB	13,600円	6,400円	下り1.5M、上り512k	www.kiwi.ne.jp
5 キャンパスネット	フレッツ・ADSL	50MB	3,600円	6,400円	下り1.5M、上り512k	www.campus.ne.jp
6 VC-net	フレッツ・ADSL	30MB	13,600円	6,600円	下り1.5M、上り512k	www.vc-net.ne.jp
7 U-netSURF	イー・アクセス	20MB	37,600円(R) / 13,400円(U)	5,800円	下り1.5M、上り512k	www.netsurf.ad.jp
8 SANNET	イー・アクセス	20MB	35,600円(R) / 13,400円(U)	6,300円	下り1.5M、上り512k	www.sannet.ne.jp
9 アルファインターネット	フレッツ・ADSL	15MB	3,600円	5,580円	下り1.5M、上り512k	www.alpha-net.ne.jp
10 サン・インターネット	フレッツ・ADSL	15MB	5,600円	6,100円	下り1.5M、上り512k	www.sun-inet.or.jp

(R) ...ルータータイプ、(U) ...USBタイプ

Ranking-4 ホスティング併用ランキング

プロバイダー名	ホスティング料金				ADSL接続			URL
	初期費用	月額料金	ウェブ	メール	初期費用	月額料金	回線	
1 KIWIインターネット	なし	500円	100MB	無制限	13,600円	6,400円	フレッツ・ADSL	www.kiwi.ne.jp
2 @nsk	3,000円	1,800円	10MB	1個	6,600円	6,100円	フレッツ・ADSL	www.nsknet.or.jp
3 ASAHINET	10,000円	2,800円	50MB	1個	3,600円	6,000円	フレッツ・ADSL	www.asahi-net.or.jp
4 AIRnet	13,300円	3,300円	無制限	1個	5,600円	6,400円	フレッツ・ADSL	www.airnet.ne.jp
5 DION	8,000円	3,500円	20MB	3個	3,600円	6,550円	フレッツ・ADSL	www.dion.ne.jp
6 VC-net	5,000円	3,500円	20MB	10個	13,600円	6,600円	フレッツ・ADSL	www.vc-net.ne.jp
7 リムネット	4,300円	3,700円	100MB	10個	4,100円	6,400円	フレッツ・ADSL	www.rim.or.jp

ウェブ容量ならAIRnet ホスティングはKIWIが最安

CGIが使えるプロバイダーのうち、追加費用なしで使えるウェブ容量が大きいものを順に並べてみたのが前ページ下の表だ。AIRnetは無制限、interQは100MBと多いが、それ以外のプロバイダーは数十～50MBと大差はない。

だが、場合によってはいくらか別途料金を払っても、独自ドメインを持ちたいという要望もあるだろう。とくに、SOHO環境でADSLを使う場合には、独自ドメイン名を使ってウェブを公開したいという要求は多いと思う。そういった場合には、ホスティングサービスを提供しているプロバイダーを選ぶとよい。そこでホスティングサービスを提供しているプロバイダーも表にまとめた。表は単純に値段が安い順で並べたが、ホスティングサービスはサービス業者によって、扱うサービスが多種多様だ。ウェブが強い業者もあればメールが強い業者もあるので目的に合ったものを選ぶようにしたい。ホスティングサービスに関しては、料金だけがすべてというわけではない。

フレッツ・ADSLで固定IPに対応しているプロバイダー

プロバイダー名	初期費用	月額料金	通信速度	URL
COMSインターネット	5,600円	10,600円	下り1.5M、上り512k	www.coms.ad.jp
VC-net	13,600円	7,600円	下り1.5M、上り512k	www.vc-net.ne.jp
WAKWAK	6,600円	7,400円	下り1.5M、上り512k	www.wakwak.com
キャンパスネット	6,600円	7,600円	下り1.5M、上り512k	www.campus.ne.jp

ADSLを利用した専用線型のサービス

プロバイダー名	初期費用	月額料金	通信速度	IPアドレス数	URL
めたりっく通信	40,000円	32,187円	下り640k、上り250k	8	www.metallic.co.jp
	40,000円	55,187円	下り1.6M、上り500k	16	www.metallic.co.jp
Canonet	37,800円	28,000円	下り640k、上り640k	4～32	www.canonet.ne.jp
	37,800円	54,800円	下り1.5M、上り512k	4～32	www.canonet.ne.jp

固定IPが使えるプロバイダーは まだまだ少ない

ADSLは回線が太いことから、サーバーを置いて情報を発信することもできる。そんなときに必要なのが固定IPだ。固定IPアドレスはほとんどのプロバイダーでオプションサービスとなっていて、若干値段が高くなる。ここではフレッツ・ADSLで固定IPに対応しているプロバイダーを列挙した。

フレッツ・ADSLでは固定IPアドレスを1つしか持てないが、それ以外のキャリアを

使った「めたりっく通信」と「Canonet」といったプロバイダーでは、複数の固定IPアドレスを提供するサービスもしている。これはおもに企業向けであるため、値段も高い。だが、独自ドメインを持つこともでき、メールサーバーを構築することできるため、本格的なサーバー環境を運用するには適している。

大都市以外の普及は これからに期待

現在のところ、ADSLを引ける地域は、東京、名古屋、大阪圏に限られる。それ以外の地域でも地域プロバイダーががんばって対応しているが、全国的に見た場合にはADSLを導入できる地域は極めて少ない。そういっ

た意味で、ADSLは今後の全国展開が気になるところだ。

ADSLキャリアで期待できそうなのが、NTTが進める「フレッツ・ADSL」と日本テレコムが進める「J-DSL」だ。とくにフレッツ・ADSLは4月には西日本全県、4月～6月には東日本全県をサポートする予定であり、期待が持てる。

最初のうちは人口が多い政令指定都市から普及が進むことになるだろうが、どこにいてもADSL回線が引ける日が来るのは、そう遠い話ではない。

ADSLキャリアの開局予定

キャリア名	東京	神奈川	千葉	埼玉	愛知	大阪	京都	兵庫
アッカ・ネットワークス		3月～	3月～	3月～	-		-	-
イー・アクセス				3月～	6月～		6月～	
フレッツ・ADSL		3月～	3月～	3月～	3月～		3月～	3月～
J-DSL							3月～	3月～
めたりっく通信			-	-			-	3月～

フレッツ・ADSL (3月) 静岡、福岡、(4～6月) 東日本全県、(4月) 西日本全県
J-DSL (開局済み) 北海道、宮城、広島、福岡

地域限定型のADSLサービス

サービスエリア	プロバイダー名	初期費用	利用料金	通信速度	URL
栃木県宇都宮市	宇都宮ケーブルテレビ	33,600円	月額5,000円	下り512k、上り224k	www.ucatv.ne.jp/catv/
栃木県宇都宮市	ライトネット	33,600円	月額5,280円	下り512k、上り224k	www.rightnet-u.com
東京都武蔵野市、三鷹市	Parkcity	33,600円	月額5,387円	640k	www.parkcity.ne.jp
長野県(有線放送各社エリア内)	Infovalley	20,000円	月額5,000円	768k	www.valley.ne.jp
長野県(有線放送各社エリア内)	JANIS	33,600円	月額6,200円	下り1.6M、上り272k	www.janis.or.jp
静岡県静岡市、富士宮市、富士市、島田市	TOKAIネットワーククラブ	25,800円	月額4,980円	下り640k、上り256k	www.tnc.ne.jp
静岡県浜松市、愛知県豊橋市	サーラ・インターネット	30,000円	月額4,987円	下り1.5M、上り512k	dsl.sala.or.jp
滋賀県蒲生郡竜王町、日野町	RMCネットワーク	20,000円	月額7,800円	768k	www.rmc.ne.jp
島根県出雲市	いずもトータルネット	35,000円	月額3,770円	256k	www.izumo-it.co.jp
福岡県福岡市、大分県大分市	コアラ	43,700円	月額5,700円	下り1.5M、上り500k	www.coara.or.jp

CATVインターネットという選択肢

高速かつ定額のインターネット接続を提供するブロードバンドサービスは、これまではCATVインターネットの独壇場だった。しかし、ADSLというライバルが登場しつつあるいま、CATVインターネットはADSLとの比較なしには選ぶことはできなくなってきた。

CATVインターネットは これからはADSLと比べよう

総務省の調査 **NJump** によれば、2000年12月の段階でインターネットサービスを提供しているCATVは188局、加入者数は62万5000人に達している。一方、ADSLの加入者数はまだ1万人にも達していない。現時点では、ブロードバンドと言えはやはりCATVインターネットが主流であるのは間違いない。

しかし、ADSLは始まったばかりのサービスで、これまでブロードバンドはCATVインターネットの独占状態だったことを考えれば、これはもはや過去の数字でしかない。

CATVは各地域には1つの業者しかいないため、引越さないかぎりプロバイダーを「選ぶ」ことはできない。しかし、ADSLサービスが開始されれば話は別だ。これからはブロードバンドの選択肢の1つとしてADSLと比較したうえで、CATVインターネットへの加入を検討しなくてはならない。

NJump www.mpt.go.jp/pressrelease/japanese/sogo_tsusin/010131_3.html



月額料金はほぼ同じだが スピードは業者によって異なる

CATVインターネットとADSLを比較する際に、もっとも重要な要素になるのが月額料金とスピードだ。現在、多くのCATV局では月額7,000円前後でインターネットサービスを提供している。ADSLの月額料金もこれとほぼ同じなので、単純に料金だけでは選べない場合も多い。ただし、複数台のパソコンを接続するとなると、CATVインターネットでは追加料金が必要になることが多いので、標準料金で複数台の接続ができるADSLのほうが有利になることが多い。

料金以上に難しいのが、接続スピードだ。CATVインターネットの場合には、同軸ケーブル自体は30Mbps程度の通信が可能だが、これを複数のユーザーで共有する形になるた

め、1ユーザーあたりの通信速度はわかりにくい。一方、ADSLの場合には電話局から

各家庭までは個別の回線で接続されるため、ADSLモデムの通信速度が最大速度になる。ただし、どちらもバックボーンは全ユーザーで共有しているため、実際の速度はバックボーン回線や相手側の混雑状況などによって大きく異なる。

CATVインターネットの場合には、最大速度の表記方法が業者によってまちまちなのも難点だ(右のコラムを参照)。今回の特集では、CATVインターネットのユーザーに「スピード」の満足度調査を行っている。現状ではこうしたユーザーからの意見を参考にすることができないが、今後はCATV局側にも積極的にスピードを公開していくなど、ADSLと比較できる材料の提供を強く望みたい。

CATVインターネットの 速度表記には要注意

CATVインターネットでは、速度の表記方法は業者によって異なる。おもな表記方法は、以下の3通りになる。

① ケーブルモデムのスピード

「最大10Mbps」といったかなり高速の表記の場合には、ケーブルモデムの最高速度を表していると考えられる。この場合、同時に利用するユーザーが少なければ数Mbpsの速度が期待できるが、混雑時には遅くなる可能性がある。

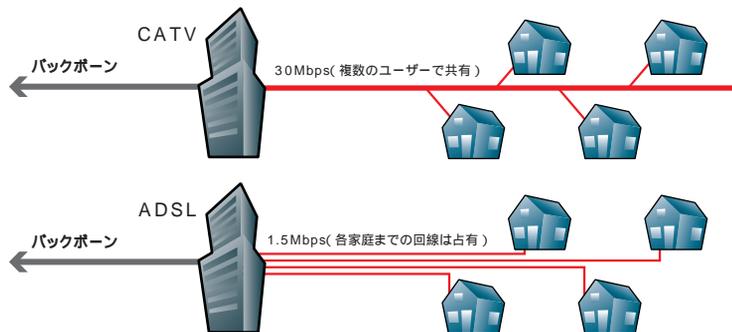
② ユーザーあたりの制限速度

「最大256kbps」といったそれほど速くない表記の場合には、ケーブルモデムで最高速度が制限されていると考えられる。この場合には、空いている時間帯でもこのスピードまでしか出ないが、混雑時でも他のユーザーの影響をあまり受けずに済むというメリットがある。

③ 具体的な速度表記なし

「ISDNの数倍程度」といったように、具体的なスピードを表記しないケース。①と同様にケーブルモデムの速度制限をしていないため、正確な速度が記載できないことから、こうした表記をするCATVインターネットもある。

CATVとADSLの速度の違い



30Mbps程度の回線を共有するCATVインターネットと、1.5Mbps程度の回線を占有するADSL。バックボーンはどちらも共有となるため、1ユーザーあたりの速度は単純には比較できない。

ブロードバンドコンテンツでは CATVインターネットが一歩リード

ブロードバンドサービスの先行者として、CATVインターネットが今後優位に立ちそうなのが、ブロードバンド向けの動画やダウンロードなどのコンテンツである。

多くのCATVインターネットでもこうした大容量コンテンツを提供しているほか、コンテンツの配信を核にした提携の発表も盛んに行われている。現時点ではユーザー数で勝るCATVにとって、こうしたコンテンツの開発は今後のサービスの重要課題でもあるからだ。また、今後の普及が予想されている、複数

のユーザーに
同一コンテ
ツを配信する

マルチキャスト型のサービスであれば、回線共有型のCATVインターネットでも、すべてのユーザーが快適にコンテンツ利用できる。もはや、回線が速いのはあたりまえとなれば、次はその高速回線でどんなことができるかが勝負になる。ブロードバンドサービスを選ぶ際には、これからは用意されているコンテンツにも要注目だ。



こうしたコンテンツの有無がサービスを選ぶ際の基準になる。

ついに動き出したFTTH実現へのシナリオ

ADSLやCATVインターネットであれば、家庭でも1.5Mbps程度の高速インターネット環境が手に入る。これだけでもモデムやISDNとは比べものにならない速さだが、10Mbpsや100Mbpsというさらに高速なサービスを光ファイバーによって提供するのがFTTHサービスだ。ここでは、すでに試験サービスを開始しているNTTとusenのサービスを紹介しよう。

NTTとusen、2つのFTTHサービス

NTT東日本とNTT西日本は昨年の12月より、最大10MbpsのFTTH試験サービス「光・IP通信網サービス」(仮称)を、東京と大阪の一部地域で開始した。一般向けサービスとなる「基本メニュー」の月額料金は13,000円で、接続先となるプロバイダーの料金が別に必要となる。プロバイダーへの接続は、フレッツ・ADSLと同様に地域IP網を経由した形での接続になる。

一方、有線放送の最大手である有線ブロードネットワークス(以下usen)が提供するFTTHサービスが「GATE01」だ。昨年の10月より東京都世田谷区で試験サービスを続けてきたが、今年の3月1日からはいよいよ世田谷区と渋谷区の一部で正式サービスとして開始される。月額料金は6,100円で、速度は100Mbpsという超高速サービスだ。サービスエリアも順次拡大予定となっており、今後の展開が期待される。

光・IP通信網サービス(仮称)

 www.ntt-east.co.jp/teigaku/opt/ (NTT東日本)

 www.ntt-west.co.jp/ipnet/ip/opt/ (NTT西日本)

GATE01

 www.usen.com/gate01/

FTTHサービス概要

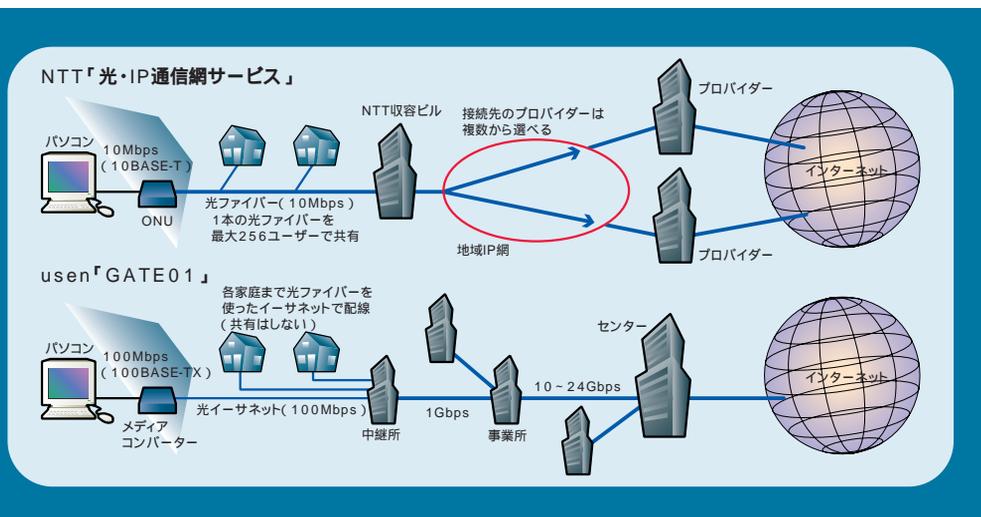
	NTT「光・IP通信網サービス」	usen「GATE01」
初期費用	27,100円	33,000円
月額料金	13,000円+プロバイダー料金	6,100円
通信速度	10Mbps(最大256ユーザーで共有)	100Mbps
提供エリア	(東京) 霧ヶ間、青山、三田、芝、東渋谷、赤坂、白金、淀橋 (大阪) 大阪中央、大阪北、大阪東、北浜、大阪南、船場	世田谷区、渋谷区
エリア拡大予定	2002年 各政令指定都市 2003年 各県庁所在地	2001年4月 東京都杉並区、目黒区、大田区 2001年 東京23区内、各政令指定都市 2002年 人口30万人程度の都市

2000年はフレッツ・ISDNの登場によって、定額でのインターネット接続が一般的になった。2001年にはこれにADSLが加わり、1.5Mbpsという高速環境も手に入れられるようになる。しかし、さらにその先に見えているFTTHサービスも、もうすぐ手の届くところまで来ている。複数のプロバイダーを選べるNTTと、100Mbpsという高速回線のusen。それぞれ特徴は違うものの、両社の一刻も早いサービスの展開に期待したい。

光・IP通信網サービス 対応プロバイダー

(2001年2月現在)

ASAHIネット	
www.asahi-net.or.jp	5,450円
リムネット	
www.rim.or.jp	5,700円
ぶらら	
www.plala.or.jp	5,450円
DION	
www.dion.ne.jp	6,800円



開通までの遅さは 今後の改善点

いままで見てきたように、ADSLやCATVのような高速回線を引ける地域は、全国的に見ればまだ限られている。そのため、現状ではこれらの高速回線を引くことができれば満足で、細かい不具合やサービスの質はあまり問題になっていない。プロバイダーとしての選択肢があまりに少ないため、高速な回線を手に入れるには細かい部分は目をつぶらなければならぬことが多いからだ。

実際、こうしたサービスでは申し込んでから数か月ものあいだ待たされたり、たびたび回線故障により接続できなくなるという声も聞かれている。これらは今後改善していくべき課題である。

誰でも使えるためには サポートも必要

CATVインターネットやADSLは現状ではまだ導入は難しく、ダイヤルアップ接続のように誰でも簡単に加入できるとは言えない。そもそも初心者にはどのような手順でADSLやCATVの回線を引けるのかもわかりにくく、せめて入会時の問い合わせには迅速に対応するといった配慮が欲しいところだ。

上級者向けのプロバイダーとして運営していくならば高速な回線だけを提供していればよいわけだが、それでは単なる回線事業者である。入会時のスムーズな受け付けから始めて、接続方法や具体的な使い方を教えてくれるサポートセンターや、安定したサービスを提供できる技術スタッフなど。こうした要素を整えてこそ、誰でも安心して使えるプロバイダーであると言える。

2001年 プロバイダーが選べる 時代の到来

大澤文孝

キャリアと プロバイダーの分業

こうした事情を反映して、最近ではアクセス回線を提供する「キャリア」と、そのアクセス回線を使ってインターネットサービスを提供する「プロバイダー」との分業が増えている。ADSLにおける、イー・アクセスやアッカネットワークスといった業者は、回線を提供するだけで、インターネットサービスは既存のプロバイダーが提供する形をとっている。この形態はCATVインターネットにも見られ、たとえば@niftyではCATVを接続回線として利用できる「Cable@nifty」といったサービスを開始している。

キャリアには高速回線の提供を低価格で提供できるように、プロバイダーではさまざまなサービスやサポートを提供できるように、それぞれ努力してほしいところだ。

ブロードバンドも 選択の時代に

これまでは、ブロードバンドサービスに入ろうと思っても、地域では独占状態のCATVインターネットが、数少ないADSLしか選択肢はなかった。しかし、今後はフレッツ・ADSLなどのサービスにより、ブロードバンドでも複数のプロバイダーを選べるようになる。

こうした状況では、ユーザー側での選ぶ基準は、独自のサービスやサポート体制、そしてもちろん価格ということになる。実はこれは、いままでのダイヤルアップ接続のプロバイダー選びの基準そのものだ。

これまではスピードばかりが目目されてきたブロードバンドサービスだが、今後は選ぶに値するかどうかを厳しくチェックして、不満であればほかのブロードバンドに乗り換えるようになる。こうした時代の到来も近い。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp